


平成24年度

○第15回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成25年2月6日(水) 午後2時から午後3時10分頃まで
対話テーマ	女将の視点を生かした おもてなし について
対話場所	笛吹市石和町 「東八代合同庁舎」
参加者	やまなし女将の会 9名
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・今年は、国民文化祭や富士山の世界文化遺産登録など、より多くの観光客が見込まれるが、そのときにきちんとおもてなしをして、山梨県はイベントや観光スポットだけでなく、人の心で和めるところだと感じていただけるよう、日々努力している。・あいさつがおもてなしの基本だと思うので、自分から進んで声をかけるようにしている。・県を挙げてのおもてなしというならば、山梨県に住む私たちみんなが「山梨に生まれて良かった、山梨に住んで良かった」と思える県であるべきだと思う。・おもてなしと言っても形になって表われるものではなく、「気配り」がとても大切である。・おもてなし週間中に開催されたセミナーに参加して、いろいろな人の話を聞いてみたいと考える従業員が増えたり、タクシー会社が苦情などにも、これまでより耳を傾けるようになるなど、おもてなしの心が浸透してきていると感じる。  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・皆さんには本県の観光振興のため、日頃ご協力いただいているが、とりわけおもてなしの運動については、リーダー的な役割を果たして、ご自身が率先垂範しておもてなしを進めていただくと同時に、広く県民の皆さんに普及活動をしていただき、感謝申し上げます。・今年は、本県の観光振興にとって非常に大事な年であるので、皆さんと一緒に、観光客を大幅に増やすよう頑張っていきたい。・長い目で見ると、あいさつの基本を小学校・中学校から身に付けさせることが大事である。・デマンドバスは、地域住民用と兼ねるのではなく、観光客用に絞るのもひとつの方法である。・笹子トンネルの天井板落下事故による山梨県のマイナスイメージを払拭するために、2月9日から首都圏の駅や高速道路のサービスエリアなどで特別な観光PR活動を行っていく。 